



# 学校だより

令和7年5月30日(金)

第860号

さいたま市立日進小学校

TEL: 663-6942

## 出会い

校長 鈴木 晴雄

雨上がりのしずくをぼたぼた落とし、雨を喜ぶかのように咲くアジサイ。同じ花でも時の経過で白から緑、ピンクから紫や深紅など、まるで違う花になったかのように色が変化するものもあります。色が変ることから、アジサイには「七変化」「七色花」の異名もあるほどです。色とりどりのアジサイの花々との出会いは、心を癒し明るくしてくれます。

5月に実施した1年生交通安全教室、2・6年生校外学習、3年生学区探検、4年生ごみスクール、5年生管弦楽鑑賞教室、全校児童による日進小まつり等、どの活動においても、子どもたちの眼差しは真剣できらきらと輝いていました。日々の生活はもちろん、学校の教育活動の中にも、たくさんのお出会いがあります。学習や体験活動の中で、子どもたちは多くの「人・もの・こと」と出会い、その出会いが子どもたちの中で大きなときめきとなります。

- 交通安全教室(1年生)より  
「あー危ない! ひかれちゃうよ」
- 遠足・茨城県自然博物館(2年生)より  
「大きいな、これダンゴムシ? 見て見て、動いてるよ!」
- 学区探検(3年生)より  
「あそこに電車が走っているよ。」「ここは、家ばかりでお店がないな。」
- ごみスクール(4年生)より  
「ペットボトルで洋服ができているんだ。」「食品ロスに気を付けよう。」
- 管弦楽鑑賞教室(5年生)より  
「うぁー感動した。」「この曲、知ってる、知ってる。」
- 社会科見学(6年生)より  
「国会議事堂、大きいし豪華だな。」「ここで国の仕事をしているんだ。」
- 番場公園へ行こう(しいの木)より  
「蝶々が飛んでるよ。」「次は、しゃぼん玉を持っていこう。」
- 日進小まつり(全校児童)より  
「楽しそうだね、どこのお店行きたい?(1年生を案内する6年生)」

人生には様々な「出会い」があります。先生や友だち、一冊の本、絵画や音楽などの芸術、動植物や山海などの自然との「出会い」。本校でも、子どもたち一人ひとりの知的好奇心や探求心が高まる学習内容や活動との「出会い」を大切に、創意工夫を生かした教育活動を展開してまいります。

保護者・地域の皆様の御支援御協力を引き続きよろしく願いいたします。

### 【日進小まつりのひとこま — “全力”ing —】

校庭の一画から思いを全身で表現する少年の姿とかけ声。少年の紅白帽子前面には、白い画用紙に赤字で「“全力”ing」という文字。お店を訪れる子どもたち一人ひとりを迎えるかけ声は「最初はグー、じゃんけんポイ。あっち向けポイ。」2人の真剣勝負が始まる。2人の適度な距離と周囲の視線が緊張感を高める。思いを込めて出したその手は、指先まで大きく開いたパーと強く握りしめたグー。一方を指し示す指先に顔が向けられた瞬間、思わず頭を抱える少年と両手を高く突き上げる少年。先ほどの緊張感が一瞬にして和み、2人の表情は笑顔に変わった。本当の充実感・達成感、心の底から湧き出る嬉しさや楽しさを味わうには、物事に全力で取り組むことも必要でしょう。額に掲げた「“全力”ing」(今まさに全力で取り組んでいます)を体現していた少年の姿は、今でも鮮明に残っている。子どもたちも教職員も「“全力”ing」。